

手遅れになるまえに相談を!

専門家が秘密厳守で相談にのってくれます。



子供がスマートフォンで薬物について検索していたのを見つけて…

最近、子供の様子が変わります。目を合わせて会話をしなくなって…



薬物について相談できる窓口はこちら

北海道	北海道厚生局麻薬取締部 北海道医務薬務課 北海道立精神保健福祉センター 札幌こころのセンター	☎011-726-1000 ☎011-204-5265 ☎011-864-7121 ☎011-622-0556	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室 福井県医薬食品・衛生課 福井県総合福祉相談所 滋賀県薬務課 滋賀県立精神保健福祉センター 京都府薬務課 京都府精神保健福祉総合センター 京都市こころの健康増進センター 大阪府薬務課 大阪府こころの健康総合センター 大阪市こころの健康センター 堺市こころの健康センター 兵庫県薬務課 兵庫県精神保健福祉センター 神戸市精神保健福祉センター 奈良県薬務課 奈良県精神保健福祉センター 和歌山県薬務課 和歌山県精神保健福祉センター	☎078-391-0487 ☎0776-20-0347 ☎0776-26-4400 ☎077-528-3634 ☎077-567-5010 ☎075-414-4790 ☎075-641-1810 ☎075-314-0355 ☎06-6941-9078 ☎06-6691-2811 ☎06-6922-8520 ☎072-245-9192 ☎078-362-3270 ☎078-252-4980 ☎078-371-1900 ☎0742-27-8664 ☎0744-47-2251 ☎073-441-2663 ☎073-435-5194
東北	東北厚生局麻薬取締部 青森県医療薬務課 青森県立精神保健福祉センター 岩手県健康国保課 岩手県精神保健福祉センター 宮城県薬務課 宮城県精神保健福祉センター 仙台市精神保健福祉総合センター 秋田県薬務課 秋田県精神保健福祉センター 山形県新型コロナウイルス収束総合企画課 山形県精神保健福祉センター 福島県薬務課 福島県精神保健福祉センター	☎022-227-5700 ☎017-734-9289 ☎017-787-3951 ☎019-629-5467 ☎019-629-9617 ☎022-211-2653 ☎0229-23-0021 ☎022-265-2191 ☎018-860-1407 ☎018-831-3946 ☎023-630-2333 ☎023-674-0139 ☎024-521-7233 ☎024-535-3556	中国四国厚生局麻薬取締部 鳥取県医療・保険課 鳥取県立精神保健福祉センター 島根県薬務課 島根県立心と体の相談センター 岡山県医薬安全課 岡山県精神保健福祉センター 岡山市こころの健康センター 広島県薬務課 広島県立総合精神保健福祉センター 広島市精神保健福祉センター 山口県薬務課 山口県精神保健福祉センター	☎082-228-8974 ☎0857-26-7203 ☎0857-21-3031 ☎0852-22-5259 ☎0852-21-2045 ☎086-226-7341 ☎086-201-0828 ☎086-803-1273 ☎082-513-3221 ☎082-884-1051 ☎082-245-7731 ☎083-933-3018 ☎083-902-2672 ☎087-823-8800
関東信越	関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室 茨城県薬務課 茨城県精神保健福祉センター 栃木県薬務課 栃木県精神保健福祉センター 群馬県薬務課 群馬県こころの健康センター 埼玉県薬務課 埼玉県立精神保健福祉センター さいたま市こころの健康センター 千葉県薬務課 千葉県精神保健福祉センター 千葉市こころの健康センター 東京都薬務課 東京都立中部総合精神保健福祉センター 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 東京都立精神保健福祉センター 神奈川県薬務課 神奈川県精神保健福祉センター 横浜市こころの健康相談センター 川崎市精神保健福祉センター 相模原市精神保健福祉センター 新潟県感染症対策・薬務課 新潟県精神保健福祉センター 新潟市こころの健康センター 山梨県衛生薬務課 山梨県立精神保健福祉センター 長野県薬務課 長野県精神保健福祉センター 東海北陸厚生局麻薬取締部 富山県くすり政策課 富山県心の健康センター 石川県薬務課 石川県こころの健康センター 岐阜県薬務水道課 岐阜県精神保健福祉センター 静岡県薬務課 静岡県精神保健福祉センター 静岡市こころの健康センター 浜松市精神保健福祉センター 愛知県医薬安全課 愛知県精神保健福祉センター 名古屋市精神保健福祉センター 三重県薬務課 三重県こころの健康センター	☎03-3512-8690 ☎045-201-0770 ☎029-301-3388 ☎029-243-2870 ☎028-623-3119 ☎028-673-8785 ☎027-226-2665 ☎027-263-1156 ☎048-830-3633 ☎048-723-3333 ☎048-762-8548 ☎043-223-2620 ☎043-263-3891 ☎043-204-1582 ☎03-5320-4505 ☎03-3302-7575 ☎042-376-1111 ☎03-3844-2210 ☎045-210-4972 ☎045-821-8822 ☎045-671-4455 ☎044-200-3195 ☎042-769-9818 ☎025-280-5187 ☎025-280-0111 ☎025-232-5560 ☎055-223-1491 ☎055-254-8644 ☎026-235-7159 ☎026-266-0280 ☎052-961-7000 ☎076-444-3234 ☎076-428-1511 ☎076-225-1442 ☎076-238-5761 ☎058-272-8285 ☎058-231-9724 ☎054-221-2413 ☎054-286-9245 ☎054-262-3011 ☎053-457-2709 ☎052-954-6305 ☎052-962-5377 ☎052-483-3022 ☎059-224-2330 ☎059-223-5241	四国 四国厚生局麻薬取締部 徳島県薬務課 徳島県精神保健福祉センター 香川県薬務課 香川県精神保健福祉センター 愛媛県薬務衛生課 愛媛県心と体の健康センター 高知県薬務衛生課 高知県立精神保健福祉センター	☎087-823-8800 ☎088-621-2233 ☎088-602-8911 ☎087-832-3300 ☎087-804-5566 ☎089-912-2393 ☎089-911-3880 ☎088-823-9682 ☎088-821-4966
東海北陸	九州厚生局麻薬取締部 九州厚生局麻薬取締部小倉分室 福岡県薬務課 福岡県精神保健福祉センター 福岡市精神保健福祉センター 北九州市立精神保健福祉センター 佐賀県薬務課 佐賀県精神保健福祉センター 長崎県薬務行政室 長崎子ども・女性・障害者支援センター 熊本県薬務衛生課 熊本県精神保健福祉センター 熊本市こころの健康センター 大分県薬務室 大分県こころからの相談支援センター 宮崎県薬務課 宮崎県精神保健福祉センター 鹿児島県薬務課 鹿児島県精神保健福祉センター 九州厚生局沖縄麻薬取締支所 沖縄県衛生薬務課薬務班 沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎092-431-0999 ☎093-591-3561 ☎092-643-3287 ☎092-582-7500 ☎092-737-8825 ☎093-522-8729 ☎0952-25-7082 ☎0952-73-5060 ☎095-895-2469 ☎095-846-5115 ☎096-333-2242 ☎096-386-1166 ☎096-362-8100 ☎097-506-2650 ☎097-541-5276 ☎0985-26-7060 ☎0985-27-5663 ☎099-286-2804 ☎099-218-4755 ☎098-854-0999 ☎098-866-2055 ☎098-888-1443	九州 九州厚生局麻薬取締部 九州厚生局麻薬取締部小倉分室 福岡県薬務課 福岡県精神保健福祉センター 福岡市精神保健福祉センター 北九州市立精神保健福祉センター 佐賀県薬務課 佐賀県精神保健福祉センター 長崎県薬務行政室 長崎子ども・女性・障害者支援センター 熊本県薬務衛生課 熊本県精神保健福祉センター 熊本市こころの健康センター 大分県薬務室 大分県こころからの相談支援センター 宮崎県薬務課 宮崎県精神保健福祉センター 鹿児島県薬務課 鹿児島県精神保健福祉センター 九州厚生局沖縄麻薬取締支所 沖縄県衛生薬務課薬務班 沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎092-431-0999 ☎093-591-3561 ☎092-643-3287 ☎092-582-7500 ☎092-737-8825 ☎093-522-8729 ☎0952-25-7082 ☎0952-73-5060 ☎095-895-2469 ☎095-846-5115 ☎096-333-2242 ☎096-386-1166 ☎096-362-8100 ☎097-506-2650 ☎097-541-5276 ☎0985-26-7060 ☎0985-27-5663 ☎099-286-2804 ☎099-218-4755 ☎098-854-0999 ☎098-866-2055 ☎098-888-1443
近畿	近畿厚生局麻薬取締部	☎06-6949-3779	●全国各保健所 ●各都道府県警察署	

保護者のみなさまへ

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」
～子供たちを薬物乱用から守るために～

子供のまわりには危険がいつぱい



子供たちの身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。うちの子に限って……と油断せず、十分に注意して見守ることが必要です。

子供を薬物から守るチェックポイント

- | | |
|---|--|
| <p>子供の言動に変化がありませんか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 帰宅が遅くなるようになった。 <input type="checkbox"/> 理由の分からないお金を欲しがるようになった。 <input type="checkbox"/> 食事を家族と一緒に食べなくなった。 <input type="checkbox"/> 目を合わせて会話をしなくなった。 | <p>子供を取り巻く環境に目配りを!</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 子供にスマートフォン等を持たせている。 <input type="checkbox"/> 子供にインターネットにいつでも接続できるパソコンを使わせている。 <input type="checkbox"/> 子供が中学生・高校生と遊ぶことがある。もしくは、友達関係がよく分からない。 |
|---|--|

1つでも☑があれば注意が必要です!

薬物は子供の脳にダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続くと様々な障害を引き起こします。特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、注意が必要です。

主な脳への障害

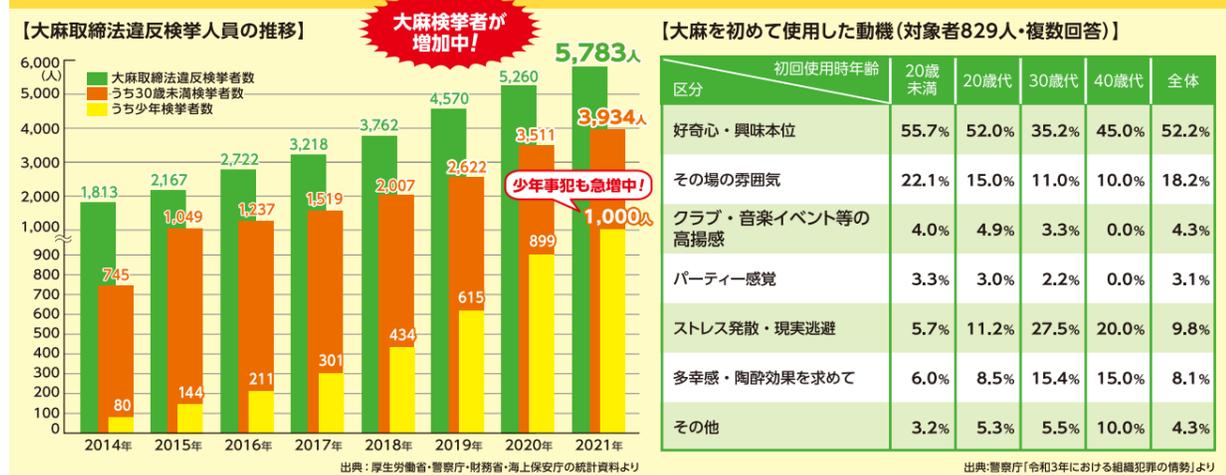


薬物乱用は身近な問題です。「うちの子には関係ない」と思っていませんか？

大麻で検挙される若者が急増しています！

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2021年には大麻の検挙者数は過去最多の5,783人となり、そのうち約68%は30歳未満の若者でした。なかでも急増しているのが20歳未満の若者で、2021年には7年前の12倍以上となる1,000人が検挙されています。

その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している「大麻は身体への悪影響がない」などの間違った知識や情報に、若者たちが影響されていることが考えられます。保護者のみなさまも正しい知識や情報を持って見守る必要があります。



大麻のこと甘く見てはいませんか？

法務省が発表した全国の覚醒剤取締法違反による受刑者を対象とした調査によると、対象者が最初に乱用した薬物を、調査した時の年齢層別にみた結果、30歳以上では年齢層が上がるにつれて覚醒剤が増えている一方、30歳未満の者では大麻の割合が最も多くなっているという結果でした。

軽い気持ちで大麻に手を出したら覚醒剤等の薬物にまで手を出していた、ということにもなりかねません。間違った情報に惑わされて軽い気持ちで大麻に手を出すのは危険です！

出典：令和2年版犯罪白書-薬物犯罪-(法務総合研究所)をもとに作成

大麻は心身への悪影響はない？ → NO 間違いです！

インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な影響があります。

大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。また、大麻はうつ病や記憶の障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう！



大麻の乱用による影響			大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響
知覚の変化 時間や空間の感覚がゆがむ	学習能力の低下 短期記憶が妨げられる	運動失調 瞬時の反応が遅れる	精神障害 統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	IQ(知能指数)の低下 短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	薬物依存 大麻への欲求が抑えられなくなる



SNSでの薬物の誘いに注意！

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。特にSNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。子供たちもそうした情報に簡単にアクセスすることができ、実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件も複数報告されています。

SNSを通して違法薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。子供たちがSNSを活用している場合は、注意して見守ることが大切です。



大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて！

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に大麻が含まれていることがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているの十分にご注意しましょう。



大麻のほかに乱用される薬物

覚醒剤

日本で最も検挙者が多い薬物。神経に作用して異常な興奮状態をもたらし、精神依存も強いので非常に危険です。



MDMA

知覚を変化させ幻覚が現れることがあります。大量に摂取すると高体温になり、死に至ることもあります。



「薬物乱用の危険」から子供たちを守るために大切なこと・心がけること

子供を薬物乱用の危険から守るためには、保護者が子供の日々の様子を注意深く見守ることが大切です。子供が自分自身のことを大切に、悪い誘いを寄せ付けず、もし誘われても断る勇気を身につけさせましょう。



医薬品も間違った使い方は乱用です！

医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。また、処方された薬を他人に譲ることや、偽造品などのリスクが高い海外で販売されている医薬品を安易に個人輸入することは、避けましょう。

過量服薬は健康被害を引き起こすなど大変危険です！

